

2019 年度 クラブテーマ

「継承、小さな一歩を積み重ね、大きな一歩に」

退任挨拶 会長 西村頼枝



昨年の今頃、満面の笑みを浮かべた坂口前会長より大きな会長バッジを手渡され、年期のテーマを「継承、小さな一歩を積み重ね、大きな一歩に」としてスタートしたことを思い出しながら、大江新会長にバトンを渡したいと思います。

今期は会員の皆様にとっても忘れ難い年期となったと思います。

まず、チャリティーディナーショー、開催の勇気ある決断と実行は、ソロプチミストを取り巻く環境の変化に対しての、地域に根差した歴史と伝統を誇る SI 米子ならではの取り組みであり、6月例会で贈呈式も行い、新日本海新聞にも掲載され、地域の皆様への感謝を報告できました。地域から期待される SI 米子と会員のプライドの高さを認識致しました。

さらに、各常任委員会に置きましたは、会員数の減少にもかかわらず、ベストを尽くして頂きました。

しかし一方で、坂口八穂子会員がお亡くなりになり、その業績を引き継ぐ体制作りがおこなわれました。

さらに今期最大の課題は、新型コロナウイルスの発症に対する対応でした。第 34 回日本西リジョン大会の中止をはじめ、各クラブの行事の中止が相次ぎました。SI 米子においても、理事会の開催が出来ず電話で話し合い、3/4/5 月の定例業務例会開催を中止として、郵送等での対応を致しました。

新型コロナウイルスの時代が来たと言われる中、変化を真摯に受け止め、柔軟な活動形式を模索し「更に厳しい環境におかれた世界と地域の女性と女兒の生活向上のために」、SI 米子の珠玉の一歩を踏み出しましょう。

この一年、あたたかく見守り、応援して下さった会員の皆様、ともに試練を乗り越えて下さった、理事会・常任委員会の皆様、本当にお世話になりました。心より感謝申し上げます。皆様のご活躍ご多幸を祈念申し上げます。

チャリティディナーショー



2020年2月23日(祝) ANAクラウンプラザ米子 飛鳥の間



終演後 会員とともに

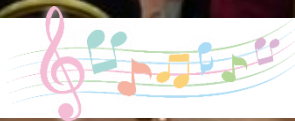


気品溢れるソプラノ・艶やかなテノール
音楽の甘美な時間を皆様と共に過ごしました



参加者 200名

ソプラノ
高橋 維
テノール
山本耕平
ピアノ
中ノ森めぐみ



SI 倉吉 40周年記念式典
西村会長 大江エレクト 坂口智子
坂口浩子 野津寛美 灘尾亜紀子 出席

認証46周年目を迎え、今年はチャリティディナーショーを開催いたしました。会員の皆様の協力のおかげでとても盛会でした。会員数も少なくなり、今までどおりのやり方では奉仕事業も簡単ではありませんが、ソロプチミストらしく良い会になったと思います。収益金は脇田会員、早原会員のご厚意もあり、500.238円となりました。舞台上のお花、綺麗でしたね。山本耕平さんもあの時期に開催できたこと、ソロプチミストの方に感謝しますと言われていました。皆様ありがとうございました。

- ① 米子市立図書館 児童書 米子市立図書館 菅原朗館長
- ② 鳥取県版 DV 民間基金 鳥取県社会福祉協議会 藤井喜臣会長
- ③ 児童自立支援ホーム ぴあホーム 山澤由美子代理



今期は3.4.5.月例会はコロナウィルス感染防止のため、文書、郵便等で行いました。最終例会の6月例会では 集まれなかった月まお誕生日のお祝いもまとめて行いました。



親子会員 坂口智子会員
坂口浩子会員
お別れ



理事会 お疲れ様でした

理事会メンバー
一年間お疲れ様でした。
会長から皆様へバラの花
一本のお礼を。

多くの混乱の中、会長が落ち着いて何をすべきかを考えながらの後期でした。
クラブテーマの
小さな一歩を積み重ね大きな一歩となりましたね。
これからも米子クラブを皆で継承いたしましょう



坂口八穂子会員

いつもお元気ではつらつとされていた頃を思い出しては涙します。

38 年期会長、毎年、重要な役職を何年もしてくださり、感謝でいっぱい
です。まさかお亡くなりになるなんて思いもしませんでした。

おしゃれで活発だった八穂子さん、どうぞ安らかにお休みください。

あなたからいただいたさまざまなことは皆で引き継いでいきたいと思
います。また天国でお会いしましょう。

広報委員会

野津・灘尾